



園外保育

10月7日、3歳以上児の園外保育で「りょうぜんこどもの村」(伊達市)へ出かけました。鬼ごっこをしたりかくれんぼをしたり、思いっきり体を動かし、屋外活動を楽しみました。



いもほり

10月22日、春に苗を植えた園の畑で、待望のいもほりを行いました。大きく育ったサツマイモを一生懸命掘り出した子ども達。大豊作に満足そうな表情でした。おいしく味わってね。



子どもは未来を照らす光

高橋澄子 教育長



「おはようございま〜す」スクールバスから降りてくる子ども達と挨拶を交わせる朝のひととき。「今日も一日頑張るぞ〜」って不思議と力が湧いてきます。まるで子ども達に魔法をかけてられているよう…。だから「子どもは宝物だ」と思う瞬間でもあります。

村のままでの里のこども園・いたて希望の里学園に通ってきてくれる子どもは、現在105名。震災がなければ…と考えることもありすが、今いる子ども達が「村の学校に通ってよかった!」と自信をもって言える日々を今もこれからも紡いでいかなければと意を強くしているところです。何故なら宝物からたくさん元気をもらっているし、先の見えない未来を照らす光こそが宝物である子ども達存在なのですから。